

厚岸町地域公共交通活性化協議会 平成29年3月23日設置



概要

厚岸町は、北海道南東部に位置し、東部は浜中町、北部は別海町・標茶町、西部は釧路町と接し、南は厚岸湾が深く進入して厚岸湖を抱き太平洋に面しており、東西35.5km、南北45.1km、総面積は739.27km²で、人口8,601人(令和4年11月末現在)である。

本町内を運行する公共交通は、くしろバス(株)による2路線2系統が運行しており、また本町独自の取組としてデマンドバスをまちなかと郊外部5方面に運行させている。

一方、これら公共交通について、人口減少や少子高齢化の進行など社会情勢が変化する中で、地域公共交通への町民ニーズが変化しており、これらを含めた公共交通網の見直し方針を示すことが求められている。

○地域公共交通の現況

- ・JR花咲線(厚岸駅) ・スクールバス(8路線)
- ・くしろバス(株)(厚岸・釧路線、国泰寺線) ・桜ハイヤー
- ・デマンドバス(5路線) ・福祉バス
- ・その他(福祉交通回数助成券事業、自動車免許自主返納支援事業)

○地域公共交通の課題

- ・交通サービス維持のための財政負担や運転手不足
- ・継続的な利用者の減少(高齢者の交通確保等)
- ・既存公共交通(路線バス、デマンドバス等)維持・確保
- ・公共交通の路線変更・エリア拡大の検討
- ・町内を運行する公共交通に係る周知の徹底

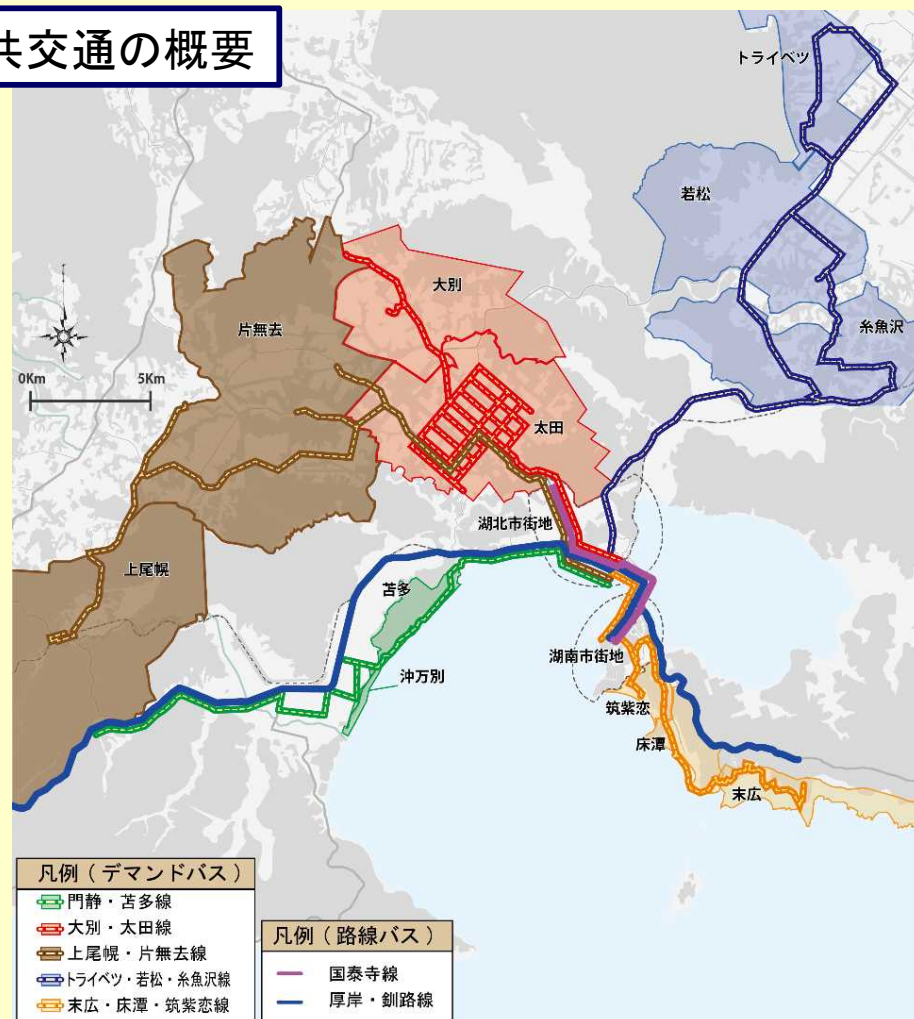
○調査の主な内容

- ・地域の現状把握(現況交通実態調査)
- ・地域における主な交通乗降調査の実施(バス乗降調査)
- ・地域住民のニーズ調査(町民意見交換会～自治会へのアンケート調査)
- ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ
- ・協議会開催

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和4年6月29日:第1回協議会を開催
(地域内フィーダー系統確保維持計画の承認)
- 令和4年10月6日:第2回協議会を開催
(地域交通網の見直しに係る実証運行についての承認 外)
- 令和5年1月18日:書面開催
(地域公共交通調査等事業に係る事業評価の承認)

公共交通の概要



厚岸町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

(1)現況交通実態調査

- ・基礎データ(地勢、気候、産業、人口、高齢化、交通データ、商業・医療・公共施設データ、観光データ)の整理
- ・上位・関連計画等の整理

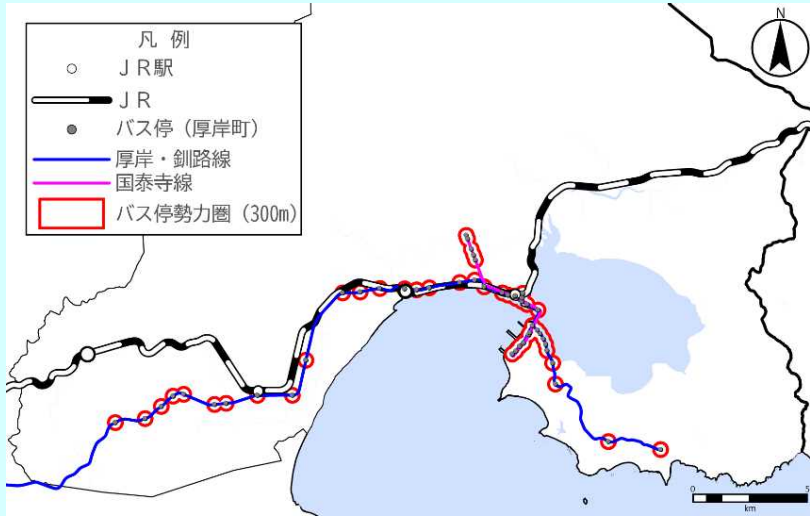


図 公共交通力バー圏

・人口が集中している市街地を中心に路線バスが走っており、郊外部には公共交通空白地域が広く存在している。そのため、デマンドバス等の運行を行い、地域の足を維持・確保している。

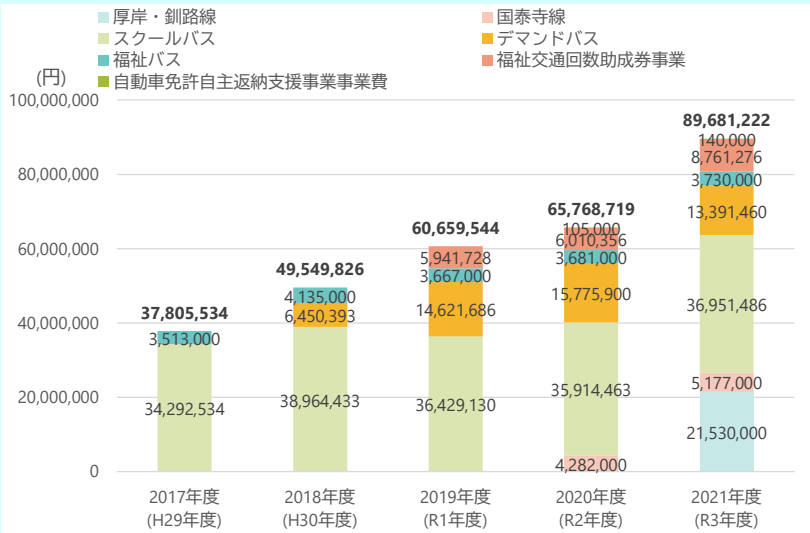


図 移動支援に係る公的資金の投入状況

・移動支援に関する費用として約9,000万円の公的資金が投入されており、年々増加していることから、財政への負担となっている。

(2)バス利用実態調査

- ・くしろバスが運行する厚岸・釧路線を対象に調査を実施

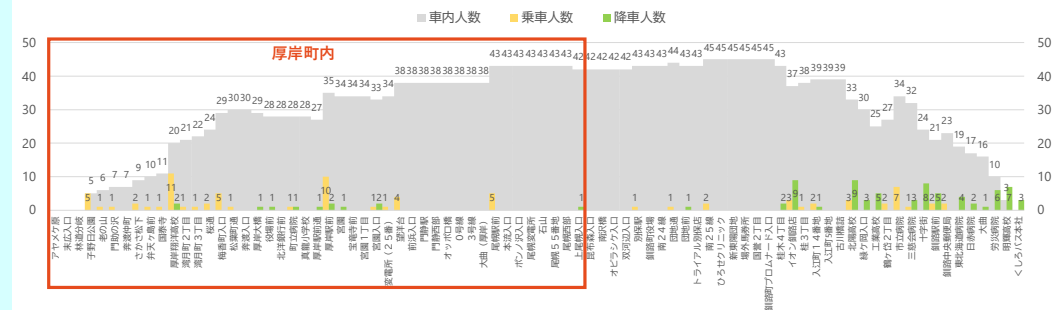


図 上り便の乗車人数及び車内人数

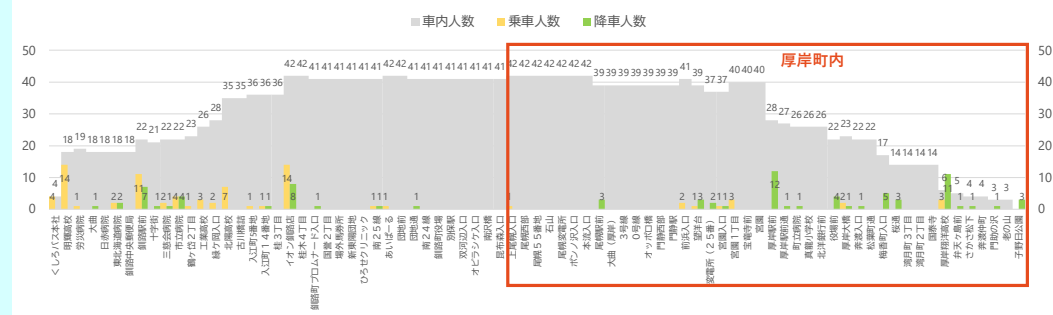


図 下り便の乗車人数及び車内人数

・上り便では始発便、下り便では夕方の便の利用が多く、昼間の便は比較利用が少ない。

・高校前のバス停の乗降が多く、アンケートでも通学目的の利用が半数を超えており、主に「通学の足」としての役割を担っている。

・病院でも乗降が見受けられ、通院目的の利用も比較的に見られることから「通院の足」としての役割も担っている。

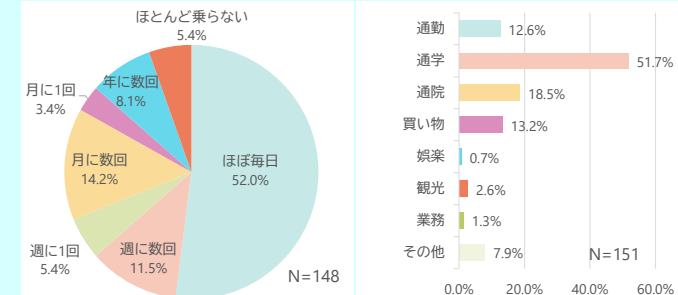


図 利用頻度

図 利用目的

発地	着地	発時刻	乗車人数 (人)	小計 (人)	合計 (人)
アヤマケ原	くしろバス本社	6:05	27	81	163
子野日公園		7:50	14		
		10:30	12		
		15:40	15		
		18:20	13		
くしろバス本社	子野日公園	6:35	18	82	
		9:40	15		
		13:40	10		
		15:40	30		
		18:20	9		

厚岸町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

(3)町民意見交換会(自治会アンケート調査)

・町内の地域公共交通のあり方についての見直しを行い、効率的で持続可能な公共交通ネットワークの構築のため、高齢者や車を持たない人等の移動に制約のある方の移動実態や公共交通に関する課題把握のため、地域事情に精通している各自治会長を対象アンケート調査を実施。

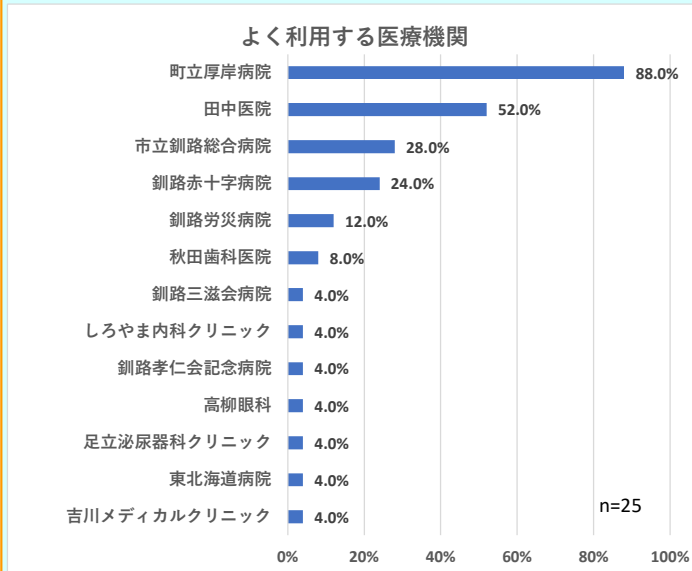


図 よく利用する医療機関

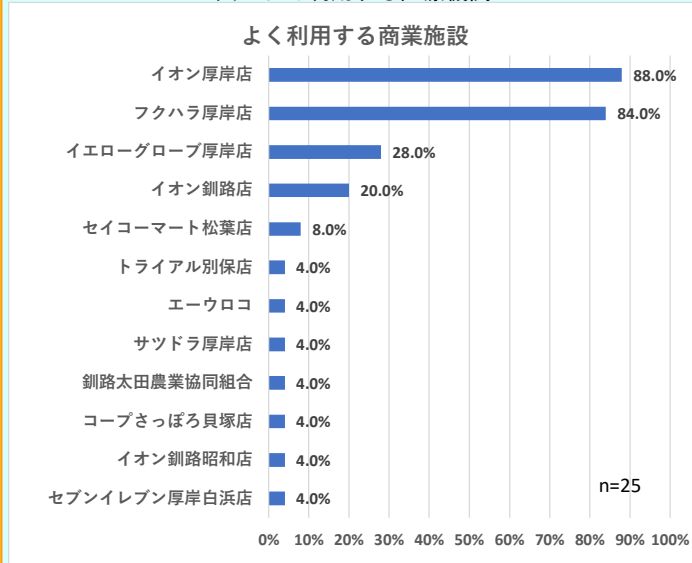


図 よく利用する商業施設

・医療機関では町立厚岸病院と回答団体の約9割が回答、田中医院も過半数を占めている一方、釧路方面への通院も見受けられる。

・商業施設ではイオン厚岸店、フクハラ厚岸店がいずれも8割強であり、次いでイエローグローブ厚岸店と続いていることから、買い物は概ね町内移動に収束している。

把握している移動実態

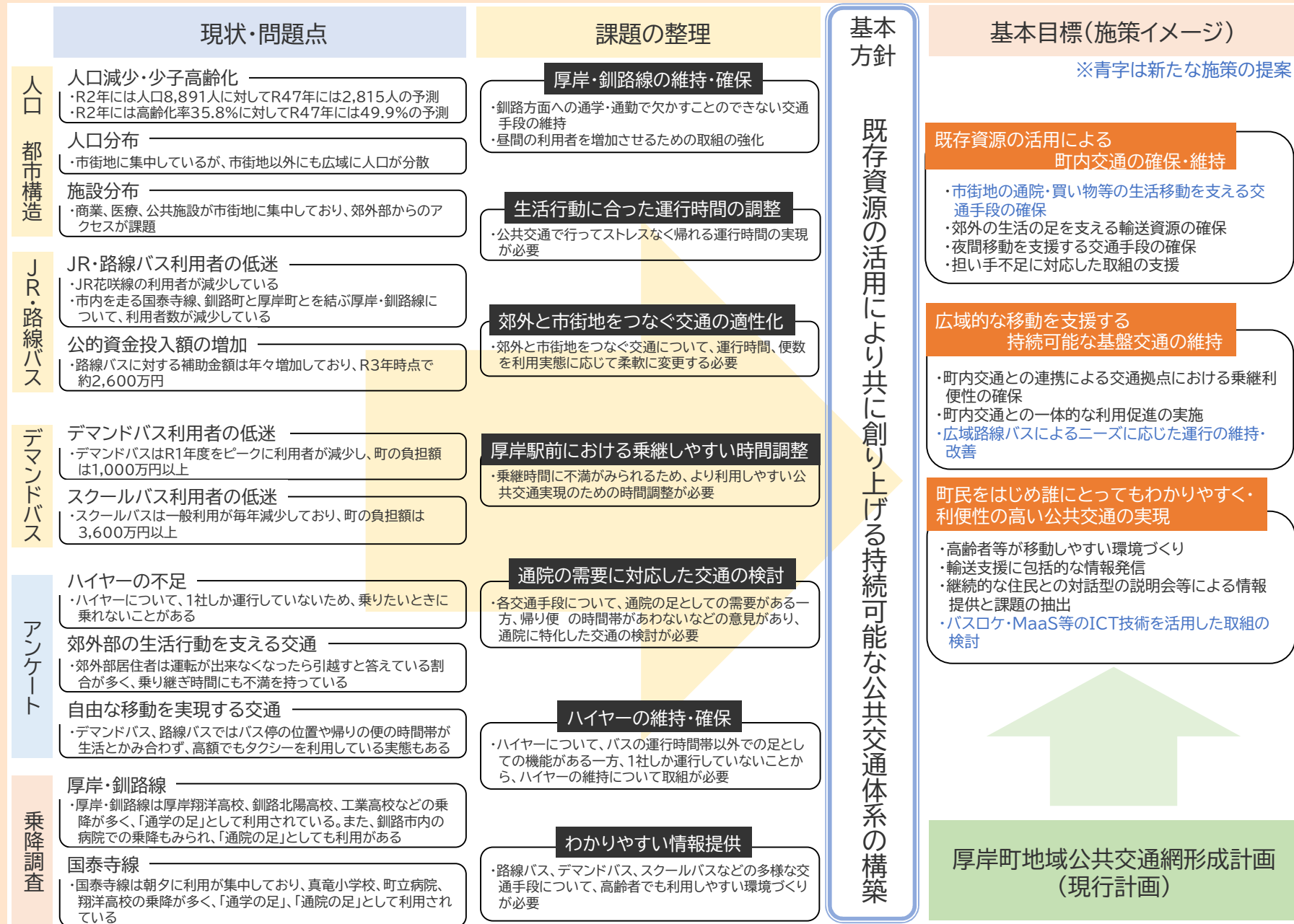
- ・自分で運転しているが、遠くに行く場合や冬は家族や知人に送迎してもらっている。
- ・知人等の車に同乗させてもらっているが、思い通りに移動が出来ずに困っている。
- ・送迎してくれる人がいない場合にバスを使うこともあるが、移動したい時間に移動できないため、釧路市立病院に行く場合は朝早く出て戻りは夕方になることもある。
- ・町内移動であれば自分で運転しているものの、年齢と共に運転が心配であるが、免許返納となると家族の送迎に頼ると考えると大変である。
- ・家族の都合が悪い場合に、デマンドバスを利用することがある。
- ・バスを利用したいが時間帯が合わなかったり、バス停が遠いため、タクシーを利用している。
- ・雪道を乗用車で釧路の病院に行くのは難しく、お金がかかっても病院前まで送ってほしい。

把握している公共交通や移動に関しての要望・意見

- ・上尾幌⇒大別⇒太田を経由して市街に行く路線について、光栄及び宮園・白浜地区は乗車が出来ず、宮園団地・白浜団地の高齢者が非常に不便。
- ・通学バスやデマンドバスを利用しているが、帰りのバスの乗継に苦労している。
- ・町立病院が終わってからバスの待ち時間が長い。
- ・デマンドバスは前日までの予約が必要で、当日では利用できないことに不便を感じている。
- ・週に1、2回だけでも町内の商業施設で乗降できるよう希望する。
- ・市街地と住宅地を循環するバスや生鮮食品を軽トラックに積んで循環して欲しい。
- ・日常的にタクシーを利用しているが、タクシーが不足なために不便。
- ・買い物帰りは荷物が多いため、タクシーを利用する機会が多い。
- ・高齢者が多いため、時刻表を解かり易くしてほしい。

厚岸町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針



厚岸町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

基本目標1:既存資源の活用による町内交通の確保・支援

- ①市街地の通院・買物等の生活移動を支える交通手段の確保
- ②郊外の生活の足を支える輸送資源の確保
- ③夜間移動を支援する交通手段の確保(ハイヤー事業者への働きかけと助成事業の実施)
- ④担い手不足に対応した取り組みの支援(事業説明会の場所の提供、支援体制の充実)

基本目標2:広域的な移動を支援する持続可能な基幹交通の維持

- ⑤町内交通との連携による交通拠点における乗り継ぎ利便性の確保(ダイヤの見直し、デジタルサイネージ等に待合環境の検討)
- ⑥町内交通との一体的な利用促進の実施(総合時刻表、バス乗り方などの情報発信)
- ⑦広域路線バスによるニーズに応じた運行の維持・改善(釧路への通院支援など)

基本目標3:町民をはじめ誰にとってもわかりやすく・利便性の高い公共交通の実現

- ⑧高齢者等の移動しやすい環境づくり(福祉交通回数券・免許返納助成の継続、バリアフリー化)
- ⑨輸送支援に包括的な情報発信(紙媒体やWEBを活用した総合的な情報提供※施策⑥との連携)
- ⑩継続的な住民との対話型の説明会等による情報提供と課題の抽出(意見交換会、出前講座等)
- ⑪バスロケ・MaaS等のICT技術を活用した取り組みの検討

●事業実施の適切性

事業実施は、適切に実施したと評価しており、事業者との協議を計画策定時より行ってきたことで、次年度より事業が円滑にできることが予想される。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定の際は、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。